

		作成日	令和8年8月25日
リーディングプロジェクト	こどもを中心としたまちづくり	ゼネラルマネージャー	こども未来部長
未来(あす)を紡ぐミーティング(ATM)メンバー	こども未来部長、福祉部長、建設部長、教育総務部長、学校教育部長		
幹事会メンバー	こども未来部次長、保育幼稚園担当参事、教育施設担当参事、学校教育担当参事、教育センター担当参事、こども政策課長、こども支援課長、こども福祉課長、こども家庭センター長、青少年課長、生活福祉課長、公園担当参事、河川課長、教育総務課長、社会教育課長		

【リーディングプロジェクトの方向性】

少子高齢化に伴う家族形態の変化や共働き家庭の増加などの社会状況の変化により、孤独や不安を抱えながら生活する家庭や経済的な困難さを感じて生活する家庭が存在しています。次代を担うこどもたちが、たくましく健やかに育っていくためには、子育ての一義的な責任を有する保護者が安心して子育てができるよう、地域全体でこどもの育ちを支えていく必要があります。このような状況を踏まえ、こどもの成長に応じた切れ目のない支援を提供することで、若い世代が暮らしやすく、安心して結婚、妊娠、出産、子育てを行うことができる環境の整備を進めます。所沢の豊かな自然を活かした子育て環境の中で、家庭、地域、学校、市がともに関わりあい、それぞれの役割を担いながら、全てのこどもたちの幸せを第一に、まちぐるみでこどもたちの成長を見守る取り組みを進めます。

【令和7年度に実施した事業】

《「主な取り組み」にあたる事業》

2-1-1 こどもの育成支援の充実									
こども支援センター運営事業（子育て支援）								こども未来部こども支援課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続
ところっこ親子ふれあい絵本事業								こども未来部こども支援課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続
2-1-2 子育て家庭への支援の充実									
こども若者子育て情報配信事業								こども未来部こども政策課	
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続
一般型一時預かり事業								こども未来部こども支援課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続
2-1-3 地域における子育て支援の充実									
地域子育て支援拠点事業								こども未来部こども支援課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続
ファミリーサポート事業								こども未来部こども支援課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続
2-4-1 家庭・地域・学校みんなで青少年の健全育成									
青少年健全育成広報・啓発活動事業								こども未来部青少年課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続

2-5-1 確かな学力と自立する力の育成										
ところん学力向上プロジェクト事業								学校教育部学校教育課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
「ところんのびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクト事業								学校教育部学校教育課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅲ：要改善	
2-5-2 豊かな心の育成										
健やか輝き支援事業								学校教育部学校教育課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
いじめ未然防止対策事業								学校教育部学校教育課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅰ：事業規模拡大	

《「関連する取り組み」にあたる事業》

1-5-3 家庭・地域の教育力の向上										
社会教育関係団体補助事業								教育総務部社会教育課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
家庭教育推進事業								教育総務部社会教育課		
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続	
3-1-2 母子保健事業の充実										
妊娠・出産つづけてサポート事業								こども未来部こども家庭センター		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅲ：要改善	
4-2-3 みどりと水の保全										
里山保全地域等指定整備事業								環境クリーン部みどり自然課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
みどりの創出事業								環境クリーン部みどり自然課		
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
北秋津・上安松地区都市緑地保全事業								建設部公園課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
ふるさとの川再生事業								建設部河川課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	

《寄与する事業》

1-2-3 安心・安全に地域で生活できる環境づくり										
生活困窮者自立促進支援事業								福祉部生活福祉課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
2-3-2 就学前児童の保育の充実										
障害児保育事業								こども未来部保育幼稚園課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅰ：事業規模拡大	
2-3-3 放課後児童クラブの充実										
サマープレイスところざわ実施事業（放課後居場所緊急対策事業）								こども未来部青少年課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅰ：事業規模拡大	
2-4-2 青少年健全育成の支援										
児童館運営事業								こども未来部青少年課		
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	

2-5-5 学校環境整備の推進										
学校トイレ改修事業								教育総務部教育施設課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
3-5-3 スポーツ活動の支援と環境整備										
所沢市運動部活動推進事業								教育総務部スポーツ振興課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	貢献度	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	

【評価及び今後の方針】

●こども支援センター子育て支援エリアにおいて、親子が交流できる広場の提供、子育て情報の発信を実施した。

なお、子育て支援と発達支援の機能が同階に併設していることを活かし、各事業が連携しながら多様な子育て相談、必要に応じた適切な早期療育へ繋ぐ支援を実施した。今後も、こどもたちが健やかに成長し、安心で充実した子育てができるよう、講座や相談などを通じて子育て支援の充実を図っていく。

●1歳6か月児健診の場での読み聞かせにより、親子のふれあいの大切さを伝えることができた。また、絵本の交換で図書館や地域の子育て支援施設を訪れてもらうことによって、孤立しがちな親子の施設等の利用に繋げることができた。引き続き、絵本の交換が促進されるよう努め、親子のふれあいの大切さを伝えていく。

●LINEアカウント「こども・若者情報チャンネル」を申請手続きなどに活用することによって登録者数が増加し、より多くの方に市からの情報を直接届けることができるようになった。引き続き、受け取る側にとって有益な情報となるよう、子育て世帯やこども・若者に対し配信していく。

●一般型一時預かり事業においては、保育園等の入園が保留となった児童をはじめ、就労や出産、入院など幅広い保育ニーズの受け皿としての機能を果たすことができた。今後も、保護者の就労形態・生活様式の多様化等により高まるニーズに対応できるように、現状の施設数を維持することで受入枠の確保を図っていく。

●地域子育て支援センターを通じて、妊産婦を含めた子育て中の親子が気軽に集い、子育ての不安・悩みを相談できる場を提供し、関係機関と連携しながら、親子同士の出会いや子育てにかかる不安感等の解消に努めた。引き続き、地域の子育て支援拠点の場を確保し、こどもの健やかな育ちを支援していくことで、地域の子育て支援機能の充実を図る。

●ファミリーサポート事業は県内他市と比較しても本市の利用件数は多く、子育て家庭が仕事と育児を両立するための支援に繋がっている。預かりや送迎など、様々な保育ニーズに対応するため、援助会員の確保に向け、養成講習会の周知方法を工夫していく。また、より多くの子育て家庭に本事業を利用してもらうために、事業周知に努めていく。

●青少年健全育成の実現には、継続的な啓発活動が効果的であるため、全国的に展開する強調月間に合わせて活動を行うことが非常に重要であり、今後も本市の青少年健全育成に関わる各団体の協力を得ながら取り組んでいく。

●ところん学力向上プロジェクト事業について、研究委託を受けた全ての学校で研究を進めることができた。教職員・児童生徒を対象とした調査を通して明らかになった課題を校長会等で共有し、児童生徒の学力向上を推進する。また、「授業改善チェックシート」や「振り返りシート」の周知、学校指導訪問での活用等を図っていく。

●多くの児童や学習ボランティアに「ところんのびのび塾」に参加をしてもらい、地域の教育力の活用やこどもたちの学力向上及び学習意欲の向上に繋がった。参加児童、保護者、ボランティアの方々から好評価であり、学習ボランティアとして参加した中学生のキャリア教育、体験活動にもつながった。複数会場での開催に向けての形式等を見直し、学習支援のための手立て、学習ボランティアの確保などに努めていく。

●全てのいじめ事案が解消するまで対応し、見届けを行うことで、いじめの解消率の向上に努めていくとともに、教育委員会として学校と連携しながら対応していく。また、いじめの重大事態が発生した際、より機動的・組織的に対応することができるよう、学校への指導助言を行っていく。

●いじめ未然防止に資する必要な知識、スキルの獲得を目的とした実践事例を作成するなど、「所沢市いじめ未然防止プログラム」の構築に向けて研究を進めることができた。いじめ未然防止に資する資質能力を育成するための授業プランや児童生徒が主体となったいじめ未然防止活動の研究を引き続き進めていく。

●所沢市PTA連合会をはじめとする社会教育関係団体の活動を通じて、こどもたちの健全育成に寄与している。今後も各団体の実情に配慮しながら活動を支援していく。

●保護者が家庭教育についての講座を企画・運営するなかで、子育てに関する気づきや学校や保護者同士の繋がりが生まれており、意義のある事業になっている。働いている保護者でも取り組みやすいよう、引き続き制度の改善や運用の見直しを行い、事業の充実に努めていきたい。

●生活に困窮している家庭に対して、所沢市社会福祉協議会と連携し、家庭の状況に応じて適正な制度利用を案内するよう努めるなど、包括的な相談支援を行った。今後も継続して相談支援を行っていく。

●児童クラブの大規模化、狭隘化、待機児童の解消等のため、小学校施設の活用や民設民営児童クラブの設置等により、定員を拡大したことで待機児童が昨年度から減少したが、依然待機児童数が多い状況が続いているため、更なる対策を進める必要がある。毎年施設整備により定員を拡大しているが、共働き世帯の増加等による需要増に対応するため、継続して施設整備等を行う。

●令和7年度から開始したサマープレイスところざわでは、児童クラブの保留児童に対して、需要の高い夏季休業期間中に安全・安心な居場所を提供した。今後も夏季休業期間中の預かりニーズを適切に把握し、事業を拡充していく。

●障害のある乳幼児と障害のない乳幼児を混合して保育する民間保育園等に対し、補助金を交付することにより、障害児の健全な育成に寄与し、もって福祉の増進を図るものである。令和8年度より、補助単価の一部上げを実施し、更なる充実に図っていく。

●所沢市こども計画に基づき、小規模保育事業所1園の新設開設、および既存施設の定員増により、保育の受入枠を増やすことで、安定した保育の提供を行った。引き続き待機児童等の状況を踏まえ、必要な保育定員を確保していく。

●保健師や助産師が電話、面接、訪問により、妊産婦や保護者からの様々な相談に対応した。妊婦サロンや助産師による母乳相談、産後ケア事業を行うなど、妊産婦に寄り添う支援を実施した。今後も妊娠出産から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実に図る。

●都市近郊に残された数少ない里山の原風景を保全するため、地域制緑地の指定範囲を0.33ha拡大し、市内に残された貴重なみどりを保全することができた。今後も未来のこどもたちに所沢の貴重なみどりを継承するため、各種法令等に基づき、保全する樹林地の土地利用を制限する地域制緑地の指定及び拡大を行っていく。

●街中に生物生息空間を適切に配置し、生態的なつながりを持たせるため、市民フェスティバルにおいて花苗や苗木を配布し、エコロジカルネットワークの形成を図った。今後も、市街化区域周辺においてみどりを創出することの重要性を市民に周知し意識の向上を図るとともに、花苗や苗木を配布しエコロジカルネットワークの形成を図っていく。

●北秋津・上安松地区都市緑地の事業用地2,285.27㎡を取得した。引き続き、地権者の理解を得ながら、計画的に都市緑地を取得し、適正な維持管理に努める。

●ふるさとの川再生事業において、こどもたちを含めた市民との協働による、河川や湿地の清掃活動、田植えや稲刈りなどの稲作体験を実施し、豊かな自然を活かした子育て環境の場を創出することができた。今後もこの活動を推進していく。

【総評】

各事業についてはおおむね計画どおりに進捗しており、子育て家庭を支える取り組みや、学校や地域をはじめ、こどもたちの健やかな育ちを支える環境づくりは着実に進んでいる。しかし、放課後児童クラブの待機児童数については多い状況が続いており、更なる対策を推進する必要がある。

こどもに関する支援の重要度は高まっており、「こどもを中心としたまちづくり」の実現に向けては、地域や関係機関と密接な連携を図りながら、引き続きハード・ソフト両面での環境整備を進め、こどもの成長に応じた切れ目ない支援の充実を図っていく。

【SDGsへの貢献】

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナリーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | |